

洞爺湖町まち・ひと・しごと創生 地域と地域が連携した取り組み



医 療

○医療機関同士で診療情報を共有できるネットワークの構築

病院や診療所などの間で、患者の同意を得た診療情報を電子データで共有できるシステムを構築し、現在西胆振地域の40以上の医療機関が参加しています。

電子データの共有により、転院などの場合でも、継続性のある適正な医療を提供でき、また、患者や医療従事者の煩雑な手続きの省略化が図られています。

人口減少が進むなかで、1つの市や町が、暮らしに必要なあらゆる機能を整備するには多くの課題があります。そこで近隣のまちと相互に協力し、圏域として、住民サービスの向上や地域の活性化、負担の軽減や効率化を目指す「広域連携」が求められています。

今月号では、人口減少の抑制に向けた4つの柱のうち、④地域と地域が連携した取り組みについてお知らせします。

問合せ
企画防災課
☎74-3004

ICTネットワーク

○西いぶり生活情報メール配信サービス

災害や火災などの防災情報、振り込め詐欺の注意喚起などの消費者情報、不審者情報などの安全安心に関わる情報のほか、イベントや催事、子育て情報など、暮らしに密着した情報のメール配信サービスを6市町が協働で実施しています。

保 健

○がん対策の推進

充実した医療資源を生かし、がんの予防や早期発見・早期治療に向けて、各種検診の充実や普及啓発事業などの実施により、住民の健康寿命の延伸を目指しています。

防 災

○防災協定の締結

大規模災害や有珠山噴火に備え、物資の提供や職員派遣、被災者の受け入れなど、西胆振6市町が相互に連携し支援協力する協定を結び、防災体制の充実強化を図っています。

西胆振6市町 定住自立圏連携事業

福 祉

○成年後見センターの共同運営

これまで室蘭市が単独で運営していた成年後見支援センターが、今年から伊達市を除く2市3町共同で運営しています。

成年後見制度の周知や市民後見人養成フォローアップ研修を行うなど、西胆振全体で高齢者や障がいのある人が安心して暮らせる地域づくりを進めています。

住民交流・移住促進

○「生涯活躍のまち構想」を通じた多世代の移住促進

西胆振地域は、医療・介護が整っている移住候補地として、全国的に高い評価を受けています。元気な高齢者（アクティブシニア）をはじめとする多世代の移住促進につなげるため、地域の特性を活かした「西いぶり生涯活躍のまち構想」づくりを進めています。

産 業 振 興

○担い手・人材確保の取り組み

西胆振地域は、一次産業からものづくり・観光まで幅広い産業を有していますが、地域企業の人材不足という共通の課題があります。札幌での企業説明会「U I J ターン適職フェア」を共同で開催するなど、圏域全体で産業の担い手・人材確保に取り組んでいます。

○地域企業の販路拡大支援

全国的に知られていない優れた特産品を個別でPRするだけではなく、バラエティ豊かな西胆振地域の特産品として発信することで、更なる魅力アップにつなげます。クラウドファンディングの活用や全国各地の商談会への出展など、地元企業のチャレンジを西胆振全体で支援することで、発信力を強化し販路拡大につなげていきます。

西いぶり定住自立圏構想の詳細は、町ホームページに掲載しています。

http://www.town.toyako.hokkaido.jp/town_administration/finance/fin003/

※クラウドファンディングとは、製品・サービスの開発、もしくはアイデアの実現などの「ある目的」のために、インターネットを通じて不特定多数の人から出資や協力を募る手法です。